

# 東海道・ 街道文化 シンポジウム

静岡二峠六宿には  
重要史実と文化財が  
残されています。

当地区に縁の深い山部赤人、義経、家康から今次大戦に至る迄の歴史・文化財の把握、伝承は有意義です。静岡県教育委員会は昭和53～54年度文化庁事業で「江戸幕府の東海道に対する認識は、一般には大津よりさらに西方に伏見、淀、枚方、守口の宿駅を通じて大坂に至るまでを指す場合が多い。従って正式には東海道五十七宿といふべきかもしれない。」「東海道は江戸と京都という認識ではなく、江戸と大坂と考えた。」と報告しました。この点も含め解説します。

★講演者 志田 威より



2024年

13:00 開場

13:30～15:45

日時

11月16日(土)

定員  
220名

参加  
無料

会場

静岡市役所清水庁舎 3F  
「清水ふれあいホール」  
静岡市清水区旭町6番8号

第1部

基調講演「静岡二峠六宿における歴史文化と文化財」  
朝日大学客員教授 東海道町民生活歴史館 館主・館長 志田 威氏

第2部

講演「東海道の魅力～宿場・街道の風景から」  
草津市歴史文化活用調整員 前草津宿街道交流館 館長 八杉 淳氏

応募方法は2通りあります ※応募多数の場合、抽選とさせていただきます。 ※応募締切:11/8(金)とさせていただきます。

◆FAXでご応募 (FAX 番号: 054-280-0215 SBSプロモーション内「東海道・街道文化シンポジウム事務局」係宛)

◆メールでご応募 (メールアドレス: tokugawa-mirai@shizuokaonline.com)

共に、以下①～⑨をご記入の上、お申込みください。※FAXの場合には、裏面の応募用紙に必要事項記入の上、お送りください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④フリガナ ⑤生年月日 ⑥勤務先 ⑦連絡先 ⑧メールアドレス ⑨同伴者参加人数とお名前

※発表は連絡通知にてお知らせいたします。 ※お預かりした個人情報には本イベント以外の目的には使用致しません。

東海道五十七次 400 周年 寛永元年(1624年) 庄野宿が加わって東海道の宿駅数は五十七となり、今年400周年という記念の年です。

主催: 二峠六宿道旅推進実行委員会 協力: 静岡市、東海道町民生活歴史館

# 東海道・街道文化シンポジウム

◆参加希望の方は事前にお申し込みが必要です。FAXまたはメールにてお申し込みをお願いします。  
FAXでお申し込みの方は申込書に必要事項を記入の上、本事務局までお送りください。

## 応募用紙

※FAX 送信して筆記が判読できなくなる場合があります。文字は太く大きめにご記載ください。

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 郵便番号            |        |
| 住所              |        |
| 氏名              |        |
| フリガナ            |        |
| 生年月日            | 年 月 日生 |
| 勤務先             |        |
| 連絡先             |        |
| メールアドレス         | @      |
| 同伴者<br>参加人数とお名前 | ●参加人数  |
|                 | ●お名前   |
| [備考]            |        |

**FAX 番号** 054-280-0215

SBS プロモーション内「東海道・街道文化シンポジウム事務局」係宛  
※発表は連絡通知にてお知らせします。 ※応募締切は11月8日(金)とさせていただきます。

※お預かりした個人情報は本イベント以外の目的には使用致しません。